

iシェアズ ゴールドインデックス・ ファンド(為替ヘッジなし)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産(商品)／インデックス型
信託期間	無期限です。(設定日:2013年9月26日)
決算日	11月2日(休業日の場合は翌営業日)
運用方針	<p>①金現物市場を代表する指標に連動する有価証券を主要投資対象とします。対象指標の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託会社の判断により決定するものとします。</p> <p>②効率的な運用を目的として、金現物を主要投資対象とする上場投資信託証券(ETF)への投資を行う場合があります。</p> <p>③外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>④ブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ・エイ。(BlackRock Institutional Trust Company, N.A.)に有価証券の貸付の指図に関する権限の全部または一部を委託します。</p> <p>⑤資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。</p>
主要運用対象	金現物市場を代表する指標に連動する有価証券を主要投資対象とします。
組入制限	<p>■株式への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>■上場投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。</p>
分配方針	<p>年1回の毎決算時(原則として11月2日、休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>■経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買損益(繰越欠損補填後、評価損益を含みます。)等の全額を分配対象額の範囲として分配を行います。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <p>■留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>

第9期 運用報告書(全体版)

(決算日:2022年11月2日)

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは上記の通り決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますよう

お願い申し上げます。

ブラックロック・ジャパン株式会社

〒100-8217 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号

丸の内トラストタワー本館

運用報告書に関するお問い合わせ先

電話番号:03-6703-4300

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

ホームページアドレス

www.blackrock.com/jp/

CONTENTS

- ◇ 基準価額の推移
- ◇ 運用担当者コメント
- ◇ ファンド状況
- ◇ 運用内容
- ◇ 資産状況

◇基準価額の推移

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(ベンチマーク) L B M A 金価格 (円換算ベース)	期中 騰落率	投資信託 組 入 証 比 率	純資産
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率				
	円	円	%		%	%	百万円
5期(2018年11月2日)	10,211	0	△ 4.9	138,959.90	△ 4.6	98.3	1,147
6期(2019年11月5日)	11,943	0	17.0	164,213.07	18.2	98.6	1,687
7期(2020年11月2日)	14,178	0	18.7	197,142.61	20.1	98.8	4,054
8期(2021年11月2日)	14,663	0	3.4	204,690.52	3.8	99.5	5,524
9期(2022年11月2日)	17,326	0	18.2	242,871.81	18.7	98.6	8,119

(注1) 基準価額は1万口当り。

(注2) L B M A 金価格は、ICE Benchmark Administration Limitedによってロンドン時間の午後に公表される金現物価格を指し、L B M A 金価格(円換算ベース)は、委託会社がL B M A 金価格に為替(株式会社三菱UFJ銀行仲値)を乗じて算出したものです。

(注3) 純資産総額の単位未満は切捨て。

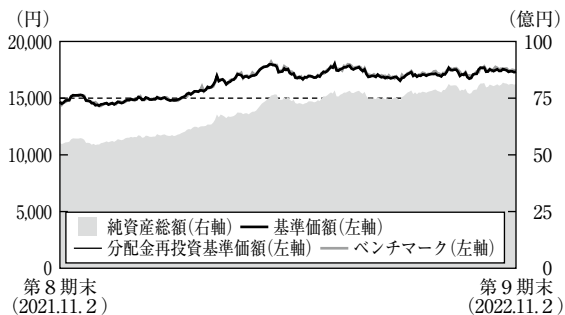
■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基準価額		(ベンチマーク) L B M A 金価格 (円換算ベース)	騰 落 率	投資信託 組 入 証 比 率
	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2021年11月2日	円 14,663	% -	204,690.52	% -	% 99.5
11月末	14,548	△ 0.8	203,187.53	△ 0.7	98.3
12月末	14,870	1.4	206,374.64	0.8	98.6
2022年1月末	14,791	0.9	206,424.04	0.8	98.5
2月末	15,625	6.6	217,788.64	6.4	98.2
3月末	16,911	15.3	236,683.90	15.6	99.3
4月末	17,353	18.3	243,004.19	18.7	98.9
5月末	16,979	15.8	237,823.14	16.2	98.7
6月末	17,733	20.9	248,450.07	21.4	99.0
7月末	16,864	15.0	236,038.64	15.3	99.0
8月末	17,021	16.1	239,871.49	17.2	99.0
9月末	17,130	16.8	239,631.59	17.1	99.0
10月末	17,362	18.4	244,339.89	19.4	98.7
(期 末) 2022年11月2日	円 17,326	% 18.2	242,871.81	% 18.7	% 98.6

(注1) 基準価額は1万口当り。騰落率は期首比。

(注2) L B M A 金価格は、ICE Benchmark Administration Limitedによってロンドン時間の午後に公表される金現物価格を指し、L B M A 金価格(円換算ベース)は、委託会社がL B M A 金価格に為替(株式会社三菱UFJ銀行仲値)を乗じて算出したものです。

■当期中の基準価額等の推移について(第9期:2021年11月3日~2022年11月2日)



第9期首: 14,663円

第9期末: 17,326円(既払分配金0円)

騰落率: 18.2%(分配金再投資ベース)

- * 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したもののみを計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- * ベンチマークは、LBMA金価格(円換算ベース)です。
- * 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、前期末の基準価額に合わせて指数化しています。

◇運用担当者コメント

投資環境について

当期(2021年11月3日から2022年11月2日)、ベンチマークである、LBMA金価格(円換算ベース)は18.7%の上昇となりました。

期初から2022年1月にかけては、米連邦準備制度理事会(FRB)の金融政策正常化の時期やペースに対する思惑が交錯する中、金価格はレンジ内での推移が続き、2月以降は、ロシアによるウクライナ侵攻を受けた安全需要の高まりやインフレ加速への懸念などから金を選好され、3月上旬にかけて大幅に上昇しました。3月中旬からは、ウクライナ情勢を背景とした安全資産としての金に対する需要の強まりなどが金価格支援材料となったものの、FRBによる政策金利の引き上げや主要国の中央銀行による金融引き締め強化を受けて米国や欧州の長期金利が上昇し、金の相対的な投資魅力が低下したことや、

米ドルが主要通貨に対して上昇したことなどを背景に、金価格は下落しました。8月に米国連邦議会下院議長が台湾を訪問したことにより、米国と中国の緊張が高まったことや、米国の物価指数がインフレの鎮静化を意識させる内容であったことを背景に金価格が上昇する場面も見られましたが、米FRB議長が高水準の政策金利の長期化の可能性を示唆したことなどから下落に転じました。9月は、英国による大規模な景気対策の発表により、ポンドに対して米ドルが上昇したことなどから金価格は下落しました。その後も、米国金利の先高観や米ドルの先高観が金価格の抑えとなりました。

外国為替市場では、米ドルは対円で期初より概ねレンジ内での推移が続き、米国の利上げ幅の拡大観測などを受けて上昇しました。2022年3月以降は、FRBが政策金利見通しを大幅に引き上げたのに対し、日銀は長期金利上昇の抑制を図るなど、日米の金融政策の相違がより明確となって円安米ドル高が大きく進行しました。

ポートフォリオについて

当期は主としてiShares ゴールド・トラストの組入比率を高位に保つことにより、金現物市場を代表する指標に連動する運用成果を目指し運用を行いました。組入比率については概ね98%以上を維持しました。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は18.2%の上昇となりました。金価格は下落しましたが、円安が進行したことから、期末の基準価額は前期比で上昇しました。

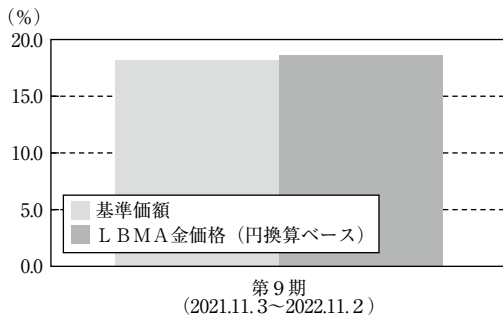
ベンチマークとの差異について

当期、当ファンドの基準価額は18.2%の上昇となりました。また、ベンチマークであるLBMA金価格(円換算ベース)は18.7%の上昇となりました。ベンチマークからの乖離は、主に、iShares ゴールド・トラストの市場価格が需給要因などからベンチマークと連動しない部分があることや、当ファンド

において信託報酬等コスト負担が発生すること、当ファンドで保有している余資部分が金価格の動きと連動しないことなどによるものです。

する指標に連動する運用成果を目指します。

【基準価額とベンチマークの対比(期別騰落率)】



分配金について

収益分配は基準価額水準、市場動向等を勘案して、見送りとさせていただきます。留保益の運用につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳(1万口当り)

項目	当期 2021年11月3日 ~2022年11月2日
当期分配金(税込み)	-円
対基準価額比率	-%
当期の収益	-円
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	7,325

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

当ファンドの運用方針に従い、金現物市場を代表

◇ファンド状況

■ 1万口当りの費用明細

項目	第9期		項目の概要
	(2021. 11. 3～2022. 11. 2)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 42	% 0.258	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は16,442円です。
(投信会社)	(2)	(0.011)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(36)	(0.220)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(5)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.005	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	(1)	(0.005)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	3	0.017	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(2)	(0.012)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	46	0.280	

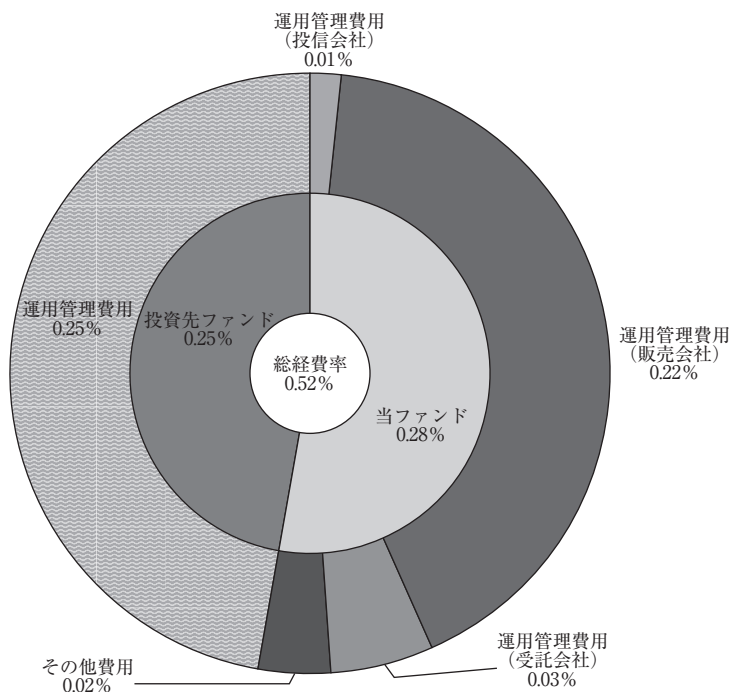
(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■総経費率



※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.52%です。

経費率(①+②)	0.52%
①当ファンドの費用の比率	0.28%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.25%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。

(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

◇運用内容

■売買及び取引の状況(2021年11月3日から2022年11月2日まで)

投資信託受益証券

外 国	ア メ リ カ	iShares Gold Trust	買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
			千口	千米・ドル	千口	千米・ドル
			336	11,792	16	560

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄(2021年11月3日から2022年11月2日まで)

投資信託受益証券

買 付				売 付			
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
iShares Gold Trust	千口 336	千円 1,512,920	円 4,489	iShares Gold Trust	千口 16	千円 63,788	円 3,855

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 口数、金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況(2021年11月3日から2022年11月2日まで)

上記期間における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

外国投資信託受益証券

銘 柄	口 数	期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
(アメリカ) iShares Gold Trust	千口	千口	千米・ドル	千円	
		1,411	1,732	54,207	8,002,039
通 貨 小 計	口 数 ・ 金 額	1,411	1,732	54,207	8,002,039
	銘 柄 数 ・ (比 率)	1銘柄	1銘柄	-	(98.6%)
合 計	口 数 ・ 金 額	1,411	1,732	-	8,002,039
	銘 柄 数 ・ (比 率)	1銘柄	1銘柄	-	(98.6%)

(注1) 〈 〉内は、期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注3) 口数、評価額の単位未満は切捨て。

◇資産状況

■投資信託財産の構成

2022年11月2日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 8,002,039	% 98.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	141,069	1.7
投 資 信 託 財 産 総 額	8,143,108	100.0

(注1) 当期末における外貨建資産(8,002,705千円)の投資信託財産総額(8,143,108千円)に対する比率は、98.3%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。換算レートは、1米・ドル=147.62円です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年11月2日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	8,143,108,711円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	141,069,152
投資信託受益証券(評価額)	8,002,039,559
(B) 負 債	23,658,959
未 払 解 約 金	13,168,199
未 払 信 託 報 酬	10,056,260
そ の 他 未 払 費 用	434,500
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	8,119,449,752
元 本	4,686,339,258
次 期 繰 越 損 益 金	3,433,110,494
(D) 受 益 権 総 口 数	4,686,339,258口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	17,326円

<注記事項>

期首元本額	3,767,616,077円
期中追加設定元本額	3,374,861,845円
期中一部解約元本額	2,456,138,664円

■当期の分配金

当期の分配金は見送らせていただきました。

(注) 第9期計算期末における、費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除及び繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(723,239,420円)、収益調整金(有価証券売買等損益相当額)(1,405,662,708円)、収益調整金(その他収益調整金)(1,112,386,289円)、分配準備積立金(191,822,077円)により、分配対象収益は3,433,110,494円となりましたが、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案し、当期は分配を見合わせました。なお留保金につきましては、引き続き元本部分と同一の運用をしていきます。

■損益の状況

自2021年11月3日 至2022年11月2日

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	742,389,495円
売 買 益	1,608,126,001
売 買 損	△ 865,736,506
(B) 信 託 報 酬 等	△ 19,150,075
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	723,239,420
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	191,822,077
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,518,048,997
(配 当 等 相 当 額)	(1,112,386,289)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,405,662,708)
(F) 合 計(C+D+E)	3,433,110,494
次 期 繰 越 損 益 金(F)	3,433,110,494
追 加 信 託 差 損 益 金	2,518,048,997
(配 当 等 相 当 額)	(1,112,386,289)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,405,662,708)
分 配 準 備 積 立 金	915,061,497

(注1) 損益の状況の中で有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中の信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 損益の状況の中で追加信託差損益金とは追加信託の際、追加代金と元本の差額をいいます。